

京都精華大学 広報誌

# 木野通信

KINO PRESS.  
KYOTO SEIKA UNIVERSITY

issue 68

特集

## 芸術と文化で 世界を動かす

特別対談

森原規行×谷 亮治  
すがやみつる×多田 実  
安田昌弘×吉岡恵美子

京都精華大学の  
注目講義あれこれ

2017年度、  
全学部横断プログラム  
はじまります。

NEWS&Topics

岡本清一記念講座第9回「日本と世界を考える」  
山本義隆講演会  
近代日本と自由 - 科学と戦争をめぐる -



### ③ 中庭

4階建ての建物には、中庭が備えられています。クローバーなどが植えられ、芽吹けば庭一面に緑が広がります。ひと息つくには、うってつけの光景となるでしょう。



### ⑦ ギャラリー

入居者だけでなく、さまざまな方が利用できるギャラリー。大きくとった窓からはやさしく日が差し込み、室内をやわらかな明かりで満たします。

問い合わせ先  
株式会社フラットエージェンシー 本店  
TEL 0120-75-0669 / 075-411-0669  
FAX 075-431-0660  
E-mail honten@flat-a.co.jp

## 写真で見るTHE SITE



### ② 美術学校の記憶

床や壁には、美術学校時代の記憶が刻まれています。飛び散った絵具の跡は、かつての学生たちが熱意をもって制作を行った証。塗り直さずに残される入居者も多くいます。



### ① 室内空間

過去の名残がありながらも、過ごしやすい環境となるように万全のリフォームが施された室内。2016年11月現在では1室の空きがあります。お問い合わせについてはページ下部参照。



### ④ 店舗

4階建ての建物の1階にはアンティークグッズや雑貨を取り扱うお店があります。2階には靴工房が入居しており、体験ワークショップが定期的に開催されています。



### ⑥ 談話室

地下に設けられた入居者専用の談話室です。奥にはシャワー室も。壁にプロジェクターを投射し、映画上映会などを行うこともできます。



### ⑤ 工作室

黒板などが残された、広いスペースの工作室。入居者の共同利用から、ワークショップイベントの開催まで多岐にわたった利用が可能です。

かつて閉校した美術学校。その建物を所有した本学は、2016年に株式会社フラットエージェンシーとの産学連携により、新たなシェアアトリエを生み出すこととなりました。多くのアーティストやクラフトマンがいる京都市左京区というエリアにおいて、彼らが集まり、拠点となる場所を作るということは、新たな活動や展開、コラボレーションからの創造が期待できるだけでなく、芸術文化振興の新しい発信地としての役割を担うことができると考えたためです。

建物は通りを挟んだ4階建てと2階建ての2棟からなり、株式会社フラットエージェンシーの主導でリノベーションが行われました。各部屋や階段、廊下の壁には、かつて美術学校だったころの名残である絵の具の跡や学生たちの落書きをあえて残し、空調設備や水道といった内部構造のほか、老朽化している部分などが整えられています。制作に適した雰囲気を保ちながらも、没頭しやすい環境となっており、また、本学の卒業生やかつて美術学校に通われた方などは、建物に入ればどこか懐かしさを感じられるかもしれません。

現在、THE SITEにはアンテナ

## 京都市左京区にオープン

# 開かれたアトリエ THE SITE

本学が産学連携により株式会社フラットエージェンシーとともに京都市左京区に所有する校舎をリノベーションし、誕生した「THE SITE」。アーティストやクラフトマンが集まり、新たな活動・情報発信の場所になってほしいという願いを込めたシェアアトリエです。今回は、THE SITEの詳細な情報とともに、さまざまなその姿をお見せいたします。

1. 雑貨を扱うショップや靴工房、デザイン事務所、ボードゲーム制作事務所、洋菓子店、カメラマンや洋画家など、多彩な店舗、職種、アーティスト、クラフトマンの方々が入居。それぞれが精力的な活動を行っており、THE SITEを中心にした新しいものづくりやコラボレーションにも高い意欲をもっています。入居者が共同で利用できる工作室や談話室もあり、交流を手助けする環境整備も万全です。そのほかにも、4階建ての建物の1階にはカフェがオープン予定。THE SITEの入居者や足を運ばれた方ももちろん、地域住民との交流の場となることが期待されます。また、同建物の4階には入居者以外の方でも利用できる展示スペースを設けており、展示会やワークショップなど、さまざまな形で使用することが可能です。

2. 建物内、建物外、地域内、地域外。さまざまな内外の人々が訪れ、接点を持ち、交流することで、これまでとは違った新たな観点やイメージ、技術などが生まれます。そしてそれは、まったく新しい作品や文化を創造してくれるかもしれません。かつての学び舎だった過去をシェアアトリエとして受け継ぎ、これからの未来へ。THE SITEが芸術文化の振興という役割だけでなく、その新たな礎となることを願っています。

